

第8回 新潟県社会人ゴルフ選手権予選競技会

□開催日：2024年10月9日（水）

□開催コース：イーストヒルゴルフクラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「**一般の罰（2罰打）**」となる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 18.2)

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. ペナルティーエリア(規則 17)

11番ホールグリーン手前のペナルティーエリアの中に球がある場合（見つからない球がそのペナルティーエリアに止まったことが分かっている、または事実上確実である場合を含む）、プレーヤーには次の選択肢があり、それぞれ1罰打で：

- ・規則 17 に基づき救済を受ける。または
- ・追加の選択肢として元の球か別の球を、ドロップゾーンにドロップする。

このドロップゾーンは規則 14.3 に基づく救済エリアである。

3. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）(規則 16)

(a) 修理地

青杭を立て、白線で囲まれた区域。

(b) 動かさない障害物

- (1) 排水溝。
- (2) 小砂利やウッドチップを使用して舗装した区域。小砂利やウッドチップなどの個体はルースインペディメントである。
- (3) 道路に隣接するわだちはその道路の一部とみなす。
- (4) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物として扱われる。
- (5) 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。

4. プレー禁止区域

電磁誘導カート用の3本のレール（白線でつながれている区域を含む）は、全幅をもってプレー禁止区域であり異常なコース状態として扱われる。規則 16.1f に基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。ただし、スタンスにだけ障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。

5. 保護フェンス

保護フェンスについては、球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 16.1 により処置するときは、その障害物の中や下や上を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。

6. 不可分な物

以下の物は不可分な部分であり、無罰の救済は認められない。

- (a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。
- (b) ハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。

7. 送電線によって方向を変えられた球

プレーヤーの球が送電線に当たったことが分かっている、または事実上確実の場合、そのストロークはカウントせず、プレーヤーは罰なしに、直前のストロークを行った場所から球をプレーしなければならない。

8. クラブと球の規格

- (a) ストロークを行うために使うドライバーはR&Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド（モデルとロフトで識別される）を持つものでなければならない。
- (b) ストロークを行うときに使用する球はR&Aが発行する最新の適合球リストに掲載されていないと認められない。
このローカルルールの違反に対する罰：失格

9. ゴルフシューズ

ローカルルールひな型 G7 を適用する。

10. プレーの中断と再開 (規則 5.7)

(a) 即時中断 (落雷等、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない。委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰：失格

即時即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなるクローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。

(b) 通常中断 (日没やコースがプレー不能)

規則 5.7b、c、d に従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図

即時中断 : 1 回の長いサイレン

通常中断 : 3 回の短いサイレン

プレーの再開 : 2 回の短いサイレン

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

11. 練習

ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

12. キャディー

プレーヤーはラウンド中キャディーを使用してはならない。

このローカルルールの違反に対する罰：違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。

競技の条件

1. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす。

2. 競技終了時点

委員会の作成した成績表が競技委員長より発表された 時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 球がグリーン上にある場合、グリーンリーディング資料 (ヤーデージブック、カートナビ等) の制限に違反した資料をプレーの線を読む支援として使用すると規則 4.3 の違反となる。
2. プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合には「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また重大な非行があった場合には規則 1.2a および 20.2 に基づいて失格とする場合がある (練習ラウンドも含む)。
3. コース内における携帯電話の使用は原則禁止とする。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタートの前の練習は 1 人 1 コイン (30 球) を限度とする。

競技委員長 照井 敏彦

■距離表

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
Yards	488	378	352	171	342	162	482	386	396	3,157	
Par	5	4	4	3	4	3	5	4	4	36	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	I N	Total
	410	527	401	180	425	346	380	168	531	3,368	6,525
	4	5	4	3	4	4	4	3	5	36	72